

単品スライド条項の運用についてのポイント

1. 対象となる「主要な工事材料」と対象工事

【主要な工事材料】

「鋼材類」、「燃料油」、「その他資材」に分類される各材料

（鋼材類：H型鋼、異形棒鋼、厚板、鋼矢板、鉄鋼2次製品、ガードレール、スクラップ等
ただし、非鉄金属は含まない）

（燃料油：軽油、ガソリン、混合油、重油、灯油）

（その他資材：上記資材のほか、原材料費の高騰などその価格上昇要因が明らかな資材）

【スライド適用の対象工事】

実際の搬入時・購入時における各材料の実勢価格を用いて算出した変動額が、各材料ごとに請負代金額の1%以上となる材料がある工事

（注）鋼材類、燃料油、その他資材のそれぞれの増額分が1%を超えたものを対象

2. スライド条項の適用手続

（1）申請時期

工期末の2月前までに請求

（2）証明書類の提出（必須）

乙は、乙が実際に購入した対象材料の価格（数量及び単価）、購入先、搬入・購入の時期を証明する書類を提出する必要がある。

（注）燃料油について証明書類が揃わない場合に、主用途に用いた数量の証明書が提出されたときは、やむを得ない範囲で、その他用途に用いた数量への適用を認めることができる。

3. スライド額の計算で用いる単価

【鋼材類・その他資材】現場に搬入された月の実勢価格

（注）複数回にわたって搬入した場合は、月ごとの搬入数量で加重平均

【燃料油】購入された月の実勢価格

（注1）複数回にわたって購入した場合は、月ごとの購入数量で加重平均

（注2）月ごとの購入数量が不明の場合は、工期中の各月の平均

4. スライド額の計算で用いる対象数量

- ・設計図書に記載された数量
- ・一式計上の工種で発注者の設計数量があるものは、発注者の設計数量
- ・各種資材の運搬のための燃料油で購入量が客観的に確認できるものは、当該数量

5. スライド額（S）の計算

- 【鋼材類】{ 搬入月の実勢価格－設計時点での実勢価格 } × 対象数量 × 落札率 × 105 / 100
+ 【燃料油】{ 購入月の実勢価格－設計時点での実勢価格 } × 対象数量 × 落札率 × 105 / 100
+ 【その他資材】{ 搬入月の実勢価格－設計時点での実勢価格 } × 対象数量 × 落札率 × 105 / 100
－ スライド前の請負代金額の1%相当額

スライド額（S）

（注）乙が実際に購入した際の鋼材類の購入代金合計、燃料油の購入代金合計、その他資材の購入代金合計の方が実勢価格で算定した額よりも低い場合は、実際の購入代金を用いて計算する。

（注）鋼材類、燃料油、その他資材のそれぞれの増額分が1%を超えたものを対象

6. その他

- ① 部分引渡しをした工事の部分、部分払※の対象となった出来形部分等については、単品スライド条項を適用できない。

※ 乙の求めに応じ、既済部分の合格通知に、単品スライド条項の適用対象とすることが出来る旨の記載があるときは適用可。

- ② 工期末が平成21年3月31日以前である工事についての適用申請は、平成21年2月27日まで。